

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月16日

【評価実施概要】

事業所番号	3870800202		
法人名	大西内科医院		
事業所名	グループホームレオナ		
所在地	四国中央市金生町下分1 4 2 3 (電話) 0896-58-9782		
管理者	森 実恵子 石川 千寿子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1 - 3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年8月7日	評価確定日	平成20年10月16日

【情報提供票より】 (平成20年6月22日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成13年6月27日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	10 人	常勤	9人, 非常勤 1人, 常勤換算 11.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	26,800 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(100,000 円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		870 円
(3)利用者の概要 (平成20年6月22日現在)			
利用者人数	12 名	男性 2 名	女性 10 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	3 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 71 歳	最高 94 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 <input checked="" type="checkbox"/> なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 <input checked="" type="checkbox"/> なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 <input checked="" type="checkbox"/> なし	短期利用共同生活介護		
加算 <input checked="" type="checkbox"/> なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

納涼大会には、利用者も芝居に参加し、自分の役を演じられた。習字の得意な方にプログラムを書いてもらったり、ミシンの得意な方には、縫物をしてもらうこともある。日頃よりカラオケが得意な方が、カラオケ大会に出場された。
 近くの公園・お寺や神社に日常的に散歩されている。又、海やプラネタリウムを見に行かれたり、大衆演劇等も喜ばれた。又、お弁当を持って、徳島県の大歩危小歩危に車で出かけられたり、電車に乗って遠くまで出かけることもある。
 管理者は、市の担当者の方と連携を図り、キャラバンメイトの活動をすすめておられる。「レオナ新聞」を市役所に置いていただいたり、ふれあい相談員の訪問を定期的に受け入れておられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、事業所全体の理念を作られたり、事業所を示す看板を取り付けられた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・職員全員で自己評価に取り組み、各ユニットのリーダーがまとめられた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議では、ご家族に看取りの体験談をお話いただいたり、レオナ新聞について「利用者の様子がよく分かる」と感想をいただいた。日頃かかわっておられるボランティアの方も出席いただいている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族の来訪時、ご家族の意見等を出していただけるよう働きかけておられる。行事時、準備や片付けを手伝ってくださるご家族もいる。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・日々の散歩時には、地域の方とあいさつを交わしておられる。事業所の納涼大会、運動会に地域の方も参加し、ともに楽しまれている。7月の地域の紙まつりには、職員が踊りで参加され、利用者の方も見学に行かれた。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームレオナ2Fユニット

(ユニット名)

記入者(管理者)

管理者

氏名

森実恵子

評価完了日

平成 20年 1月 31日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			入所者の入替わりがあったのでユニットでの理念を作り直したい。		
			(外部評価)		
			「自分らしく生きていく」というユニット共通の理念を作られた。理念に基づき、各ユニットごとに目標を決め、共用空間に掲示されている。ユニットごとの理念は、利用者の意見を採り入れ作られた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			職員全体で話し合いの機会を持ち 理念においての具体的な介護のあり方を見直している。実践につながるように機会あるごとに話しあいをしている。		
			(外部評価)		
			理念を共用空間に掲示して、職員間で共有しながら実践できるよう取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族訪問時に話し合ったり、行事の時に地域の方に参加してもらい理解してもらえるよう取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩時に挨拶をしたり ホームにきてもらい一緒にお茶をしてもらったりし日常的なおつきあいをしている。近所の散歩で交流を広げている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 高校生のボランティアに参加してもらったり 地域の盆踊りやバザーに参加し地元の人と交流している。 (外部評価) 日々の散歩時には、地域の方とあいさつを交わしておられる。事業所の納涼大会、運動会に地域の方も参加し、ともに楽しまれている。7月の地域の紙まつりには、職員が踊りで参加され、利用者の方も見学に行かれた。		町内の清掃作業等に、利用者と共に参加する予定となっていた。管理者は、地域の独居で暮らす高齢者との交流を深めたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 高齢者で悩んでいる方の悩み相談に応じれる体制を整えている。1人暮らし宅を訪問することもある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全員で自己評価に取り組み 結果を報告しあって話し合い改善に生かしている。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、各ユニットのリーダーがまとめられた。前回の評価結果を受けて、事業所全体の理念を作られたり、事業所を示す看板を取り付けられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			会議の中で行事の報告、苦情を受けている。地域に詳しい方に意見を頂き 外部から見た視点を取り入れ色んな方向からみて改善に生かしている。		
			(外部評価)		
			会議では、ご家族に看取りの体験談をお話いただいたり、レオナ新聞について「利用者の様子がよく分かる」と感想をいただいた。日頃かかわってくれているボランティアの方も出席いただいている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			キャラバンメイトを開催し質の向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			管理者は、市の担当者の方と連携を図り、キャラバンメイトの活動をすすめておられる。「レオナ新聞」を市役所に置いていただいたり、ふれあい相談員の訪問を定期的を受け入れておられる。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			現在利用者はいない。必要があれば関係者と話し合う体制にはある。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			高齢者虐待についての内容を掲示し 見過ごす事がないように互いに点検している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		(自己評価) 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族と利用者の方と話し合いの機会を多く持ち丁寧に話し理解納得を求めている。		
13		(自己評価) 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	不満苦情を全員で共有し運営に反映させている。ふれあい相談員の方や傾聴ボランティアの受入をして受け止める体制を作っている。		
14	7	(自己評価) 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	体調については面会や電話で報告している。お小遣いはこづかい帖に記入し家族に確認してもらっている。		
15	8	(外部評価) 日々の生活のことについて、ご家族に、レオナ新聞や写真、電話で報告されている。行事や運営推進会議の案内等もされている。	(自己評価) 市苦情相談窓口を案内している。改善点についてはユニット内で話し合いをして改善に取り組んでいる。		(外部評価) ご家族の来訪時、ご家族の意見等を出していただけるよう働きかけておられる。行事時、準備や片付けを手伝ってくださるご家族もある。
		運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	管理者は、ご家族の本音を聞かせてほしいと願っておられる。ご家族の立場同士で話し合うような機会作りや、評価結果・家族アンケートの集計表等もきっかけに、ご家族からご意見を引き出すようなきっかけを作ってみてはどうだろうか。ご家族の心情を踏まえた対応が期待される。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 話し合いや懇親会で 話し合いの機会を設けている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 柔軟な対応ができるように職員同士で話し合いながらしている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 各ユニットで職員を固定している。退職後も職員の方は訪問しダメージを最小限に防ぐ努力をしている。		
			(外部評価) 管理者は、職員の相談や話しをよく聞かれ、離職を抑える努力をされている。離職がある場合でも、元職員が事業所を訪れてくれることがある。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 事業所外での外部研修の機会を確保している。		
			(外部評価) 研修の案内を掲示し、希望や経験年数に応じて参加できるよう、すすめておられる。研修の内容を報告書にまとめ、月例会で報告されている。 職員は、さらにスキルアップできるよう、勉強していきたいと意欲的である。今後も職員が研修に参加できるよう計画を立てる等、勉強する機会を増やしていかれることが期待される。さらなる職員のレベルアップから、事業所のケアの質向上に取り組まれてほしい。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			他グループホームを訪問させてもらったり 行事に参加してもらったりし ネットワーク作りをしている。		
			(外部評価)		
			近くのグループホームと交流が始まり、他事業所の納涼大会時等、利用者もともに行き来されている。職員は、他の事業所を訪問することによって、よい点や違いを見ることができたと話されていた。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			月1回の懇親会を楽しみにしている。施設内にストレッチ器具を置いてストレス解消に役立てている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員の資格取得に向けて支援をしている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			1対1での話し合いをする機会を作っている。本人の不安を理解できるようにしている。(表情や顔色など)利用前には面談にて把握できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査を詳しく行い信頼関係をつくれるように努力している。カンファレンスの機会を多く持ち、家族参加で話し合いの機会をもつようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本当に必要としている事を理解できるように話し合いの機会を多く持ち支援を見極めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族と話し合いながら工夫している。自宅の家具を持ち込んで自宅の雰囲気を作っている。家族の訪問回数を増やしたりして 帰宅願望の強い人には対応している。 (外部評価) 共用型のデイサービスや、同建物内のデイサービスを利用され、雰囲気に慣れてからの入居となる方もいる。又、入居間もない時は、ご家族に電話をかける方もおられ、ご家族の協力を得ながら、ゆっくりと馴染めるよう支援されている。職員は、他の利用者とかかわることができるよう、場面作りに心がけておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 一緒にテレビを見たり 外出時は一緒に食事したり喜怒哀楽を共にして楽しく生活している。 (外部評価) 白菜漬けや花見の団子作りを教えていただいたり、ミシンの得意な方が雑巾を縫ってくださることもある。行事後等、利用者が職員に「しんどかったる」「ありがとう」と労いの言葉をかけてくれることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) イベント参加 外出時の家族の参加をしてもらい また訪問時には日々の生活を詳しく話し共に支えていく関係を作っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者と家族の関係がうすれないように 面会時やイベント時は 家族で過ごしてもらうようにしている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 散歩中には馴染みの人と交流できている。散歩コースも考えている。お墓参りをしたい時は一緒に行っている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し かかわり合えるように工夫している。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 終了しても行事案内をしている。道で会うと挨拶し交流している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			昔の生活ぶりを話題の中に入れてよく話し合う。家族からも情報を得ている。		
			(外部評価)		
			職員は、「日常的に家族のように接し」利用者の思いの把握に努めておられる。又、「利用者の顔の表情をよく見て理解」できるよう努めておられる。		さらに、今後も利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を探るための工夫を重ねていかれてほしい。利用者個々の性格等も踏まえ、一人ひとりについての理解を深め、ケアにつなげていかれることが期待される。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			生活歴や馴染みの暮らしを家族との会話の中で経過の把握に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			健康状態の把握、生活リズム、行動や動作から感じ取る。介護記録は出勤日でない日の所も目を通し把握するようにしている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ホーム内で安心して暮らせるように話し合い介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			利用者・ご家族・職員の意見や気づきを採り入れ、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画は3ヶ月ごとに見直し家族に意見を聞いて作成している。状態の変化に合わせて必要時に見直ししている。		
			(外部評価)		
			3カ月ごとに介護計画を見直されている。又、状態の変化に応じて随時見直されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			気づいたことは個別に詳しく記録し介護計画に生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望をできるだけ実現できるように家族の支援を得ながら柔軟な支援をしている。		
			(外部評価)		
			以前住まわれていた所を訪れ、知人と会ったり、ご自宅の仏壇に手を合わせに行かれる際等、職員は、利用者に同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) ふれあい相談の方、傾聴ボランティアの方の協力を得ながら 悩み相談や交流を持ち 安心して地域で暮らせるようにしている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域の他の事業者と機会あるごとに話し合い サービス向上について情報提供しながら支援を考えている。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現在のところ必要性が生じていない。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望で医療が受けられるようにしている。医療機関との連絡を密に行っている。 (外部評価) 協力医は、夜間も対応してくれる体制となっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の受診が必要な場合は家族と相談し同意の上治療を受けている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員に気軽に相談にのってもらい 日常生活の留意点や健康管理に気をつけてしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は定期的に訪問し 病院関係者と退院後の相談をしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終末時については入所時点にも話し合いを持ち 入所後は家族の訪問時には話す機会を持つように意識している。 (外部評価) 重度化や終末期については、希望があれば最期まで支援することを入居時、全家族に説明されている。その後は、状態の変化があるごとに、ご家族・医師を交えて話し合いを行うようにされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 3ヶ月ごとに出来る事できないことシートに記入し見極めをしている。心配な事 わからない事は主治医に気軽に相談し皆で支援に取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族とよく話し合い情報交換し ダメージを最小限でおさまるように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その人に応じた声かけをしている。</p>		
(外部評価)			<p>レオナ新聞は、利用者の名前を使わずイニシャルで示すようにされている。調査訪問時、職員は、利用者笑顔でやさしく接しておられた。</p>		
51		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者家族の希望を聞き 本人の思いをくんで納得できるように暮らせるように支援している。</p>		
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>声かけし 今日することの話題作りをし 皆で出来る事をしている。</p>		
(外部評価)			<p>朝に配達された牛乳を取りに行くことを日課とされている方や、食後廊下で歩く練習をされたり、体調管理のため自主的に健康器具を用いて運動をされている方もいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) ホーム内に美容師の方が来てくれる。家族と今まで利用していた美容室にいかれる方もいる。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 何が食べたいか テレビを見ながら話している。調理はできない人もいるが 献立は皆で話し合い 取り入れるようにしている。片付けは分担して皆で行っている。 (外部評価) 利用者、職員が同じテーブルで食事されており、今日の料理の感想や食べたいもの等、会話が弾んでいた。食器ふきやテーブルふきをされている利用者がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 欲しい物があれば 散歩時にオヤツを買いに行っている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) おむつ使用の方もできるだけトイレ誘導している。排泄パターンは記録で把握し 気持ちよく排泄できるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			夏場は気持ちよく眠れるように 午後から入浴している。冬場は 夕方ゆっくり入浴する希望があるのでしている。		
			(外部評価)		
			週2回の入浴となっているが、汗をかいた時等、シャワーもすすめておられる。又、利用者同士で入浴されることもある。入浴を嫌がる方には、タイミングを見ながら入浴をすすめておられる。		今後も、入浴支援についてケアの質にこだわり、ご本人が入浴を楽しむことができるよう支援の工夫を重ねていかれることが期待される。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の体調により休息したり 休めるようにしている。気持ちよく眠れるように日中は身体を動かしてもらっている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			役割分担をして食事の片付けや洗濯たたみをしてもらっている。		
			(外部評価)		
			納涼大会には、利用者も芝居に参加し、自分の役を演じられた。習字の得意な方にプログラムを書いてもらったり、ミシンの得意な方には、縫物をしてもらうこともある。日頃よりカラオケが得意な方が、カラオケ大会に出場された。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			外出時にお金を持ってもらい 自分で買物できるように支援している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天候のよい日はできるだけ 外に出て散歩している。希望があればモーニングにも出かけます。		
			(外部評価)		
			近くの公園・お寺や神社に日常的に散歩されている。又、海やプラネタリウムを見に行かれたり、大衆演劇等も喜ばれた。又、お弁当を持って、徳島県の大歩危小歩危に車で出かけられたり、電車に乗って遠くまで出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			家族の訪問時に外出している。家族が来られない方にはお墓参りを一緒に行く支援をしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			手紙のやりとりは難しいが 本人の希望にて電話ができるように支援している。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気軽に来られるように雰囲気作りをしている。また声かけをしたり イベント案内をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ベット柵を転倒予防のために使用している人もいるが基本的には使用していない。身体拘束については掲示し全員が理解している。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけないケアに取り組んでいるが 本人の安全のため ベランダの窓や押入れには鍵をしている。 (外部評価) 階段の前に、ついたてを置いておられる。現在は、利用者は、外出したい時には、職員に声をかけてくれるようになっている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) さりげなく見守りを行い安全に配慮している。夜間定期的に居室を見回りしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意が必要とされるものは 目の届かない所に置かないなどしている。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) カンファレンスの機会を持ち 予防の知識確認をし救命講習に毎年参加している。ヒヤリハット記録を再度発生しないようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 利用者の急変時は かかりつけ医に連絡し 応急処理できるようにしている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の消防団の人と連絡がとれる体制をとっている。 (外部評価) 年1回、消防署の方の指導のもと、夜間等を想定した避難訓練を利用者と共に実施されている。地域の方、地域消防団にもいざという時に、協力いただけるよう体制を作っておられる。		職員は、車椅子を利用されている方の避難方法や、2F・3Fからの避難について、不安な点もあると話しておられた。今後もいろいろな場面を想定して、又、課題について話し合いを繰り返し、すべての利用者が安全に避難できるよう、取り組みをすすめていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 夜間の転倒などリスクの対応など家族には常々話している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日常の健康状態を把握し 少しのサインや変化を見逃さないようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 用法や用量については 薬を受け取った時に説明を受けている。わからない時はすぐに聞くようにして把握している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便の記録をしている。ラジオ体操、歩行訓練、金魚体操、電動バイクを使用し身体を動かすように取り組んでいる。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 入れ歯の洗浄は寝る前にポリドントして清潔にしている。ハブの掃除は お茶でうがいし 各自 指でマッサージしている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 摂取状態を介護記録に記録し 把握するようにしている。 (外部評価) 利用者の希望を聞き取り、全体的な栄養バランスを考慮して献立を立てておられる。スイカ等でも水分補給できるようにしており、食事時、職員は、お茶を促す声かけをされていた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 月例会で話し合う機会を作り スタッフ同士で話し合う機会を作っている。マニュアルは作成している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>台所に入る前には手洗いをして入るようにしている。また台所入口でスリッパを履き替えている。新鮮な食材を使用するように努めている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関先には季節を感じさせる花や掲示物をし 親しみやすさを演出している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>四季を感じてもらうため 季節に関係する物を作ったり飾ったりしている。掃除は徹底し清潔にしている。日光が部屋に取り組めるように工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所の入り口には、金魚鉢や和の小物や植物を置いておられる。居間には海をイメージした飾り付けをされていた。畳のスペースでは、くつろがれている方もおられた。</p>		<p>共用空間の季節の装飾等、利用者と楽しく作業し、季節感を感じたり「きれいに仕上がった」等会話も弾んでおられ、利用者と触れ合う時間となっている。さらに、今後も、利用者が日常生活を営むの場として共用空間の雰囲気作りの工夫や配慮を重ねていかれることが期待される。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食堂にソファを置き 入所者同士のコミュニケーションがとれるようにしている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入所前に自宅で使っていたタンス、コタツ、テレビを持ってきてもらっている。		
			(外部評価)		
			冷蔵庫やテレビを持ち込んでおられる居室もうかがえた。又、ご家族の写真を飾っておられる方もあった。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			居室は天気のよい日は窓を開けている。冬は換気を定期的に行い 空気の入れ替えには気をつけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下の手すり、浴室の手すりなどを使用して自立した生活ができるように工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			入口に飾りをつけて 間違わないようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			ベランダに花や野菜を植えている。毎日かかさず水遣りをしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	個々にその人らしく意思を尊重し1日を過ごしてもらえるように工夫している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒に外出したり お茶をしたり 居室内で1対1で会話できる機会を持っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の好きなようにテレビを見たり 会話したりして過ごす。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	1人暮らしをしていた方には 寂しさがなくなり レクリエーションする楽しみごとが増え 会話も増え表情もよくなったと家族から聞いています。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「どこかに行きたいなあ」という訴えがあれば体調がよければ出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	健康管理に関しては体調不良時には主治医に往診してもらっている。安全面では 声かけをし不安なく過ごせるようにしている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	言葉かけをしながら家族の協力も得て柔軟に支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時に家族が不安に思っていることがないか さりげなく聞くようにしている。訪問にあまり来れない家族には連絡をこまめにしている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	入所している人は 地域の方が多いので近所の方が来てお茶を飲んだりしている。

